

Ⅱ. 1. 刊行物等

○紀要『言語文化研究』

『言語文化研究』第45号(2019) 目次

【学術論文】

植田 晃次	日本近代朝鮮語教育史の視点から見た伊藤韓堂(卯三郎)と朝鮮語—新聞記者から「算盤をはじく」出版社経営者兼執筆者となった人—
岡本 淳子	演劇上演に対するフランコ体制下の検閲—アントニオ・ブエロ・バリエホ作品の検閲報告書から読み解く—
菊池 正和	マリネッティの「連鎖的シンテジ」—秩序への回帰が意味するもの—
坂内 千里	『説文解字繫傳』「部紱篇」考
中村 未樹	『ヴェローナの二紳士』におけるパッションの抑制と擁護
渡辺 伸治	ニーベルンゲンの歌における <i>gân</i> の用法—現代語訳では <i>kommen</i> で訳されている例を対象に—
DEZEM, Rogério Akiti	A FOTOGRAFIA DE RUA EM DUAS CIDADES MULTIFACETADAS:
AVANCINI, Atílio	OSAKA E SÃO PAULO

【研究ノート】

大塚 行誠	ラルテー語における動詞語幹の交替
郡 史郎	じょうずな読みとアクセント, イントネーション—非母語話者の読みの改善例—
宮脇 聡史	「憑依」(Possession)の報道—キリスト教国フィリピンの教会の視点から—

○言語文化共同研究プロジェクト2019 目次

『新しい視点からの英語教育』

- ・日野 信行 The significance of paradigmatic eclecticism in teaching English for global communication
- ・西田 理恵子 The integration of content in the language classroom to enhance students'

motivation in language learning

- ・服部 拓哉 Tonal features of English storytelling by Japanese learners of English

『自然言語への理論的アプローチ』

- ・井原 駿 Conditionals with/without Obligatory Particles
- ・榎原 実香 不定語との共起からみたとりたて詞の統語構造
- ・越智 正男 On Aggressively Non-D-Linking and Causal *Wh*-adjuncts
- ・田儀 勇樹 Case-Valuation and the Phasehood of Japanese Causatives
- ・張 雨辰 中国語の副詞「就」と焦点の局所性について
- ・中西 亮太 Interpreting Anaphora within the Domain
- ・野口 雄矢 On the Nominative Phrase in Japanese Imperatives
- ・三藤 博 Glue 意味論の可能性
- ・宮本 陽一 A Note on Movement out of an Ellipsis Site: A Study of Chinese Relative Clauses and N'-ellipsis
- ・由本 陽子 形容詞を基体とする複合語についての一考察

『Cultural Formation Studies I』

- ・木村 茂雄 はじめに
- ・Md. Mamunur Rahman
Contextualizing Indian Myths: Post-colonial Identity Formation in the Selected Post-Independence Novels of R. K. Narayan
- ・Natsue Ambo Degeneration and a “Queer” Lady: The Relationships of the Siblings in Jane Austen’s *Mansfield Park*
- ・伊勢 芳夫 勝者の歴史言説と「反抗者」
——*Mirror for Americans* の 2 重の敗北——
- ・久保 和真 写真のなかの子供「たち」の物語
——*How the Other People Lives* における写真と語り
- ・舞 さつき ワカンダとコロニアリズムの関係
——マーベル映画『ブラックパンサー』より——
- ・桑原 拓也 脱ポストモダンの誠実さ
——The 1975 の “Sincerity Is Scary” におけるアイロニーと誠実——
- ・小倉 永慈 われわれが何もしないために
——リチャード・パワーズの新作 *The Overstory* を読む——

- ・小杉 世 詩人の杖の物語
——NZ 桂冠詩人 Selina Tusitala Marsh 氏を迎えて——

『テキストマイニングと デジタルヒューマニティーズ 2018』

- ・田畑 智司 プロジェクトの目的と活動
- ・今尾 康裕 日本の大学生英語学習者によるエッセイでの接続表現を探る—日本語エッセイ・英語母語話者によるエッセイと比較して
- ・Mao Sugiyama The Role of Words in the Program “Direct Line with Vladimir Putin”
- ・浅野 元子 EMENT コーパスにおける英語医学テキストの言語使用の検討
- ・田畑 智司 コーパス文体論フォーラム(Corpus Stylistics Forum with Dan McIntyre and Emerging Scholars)開催記録
- ・田畑 智司 コーパス文体論シンポジウム(Osaka Symposium on Corpus Stylistics)開催記録・プロシーディングズ

『相互行為研究⑤—談話とポリティックス—』

- ・榎本 剛士 ポリティックスの視点から考える教室のフィールドワーク
—再帰的考察—
- ・岡本 能里子 オバマ広島訪問におけるメディア報道のマルチモード分析
- ・木場 安莉沙 「外国人」の表象に見られる「他者」構築のアプローチ
—語学学校の広告を題材に—
- ・竹村 博恵 在韓日本人妻のエスニシティをめぐるアイデンティティ・ポリティックス
- ・オユナー ノミン メディアが作る「外国人女性像」とポリティックス
—深夜帯のバラエティ番組における外国人妻の描写を通して—

『表象と文化 XVI』

- ・Alexander Dybovsky Sight & Sound Rendezvous
- ・Christophe Garrabet Les bibliothèques populaires et scolaires,
nouveaux marchés littéraires de la seconde moitié du XIX^e siècle
- ・林 千宏 モーリス・セーヴ『デリー』(1544)における塔の表象
- ・川村 明日香 東京ディズニーリゾート 35 周年を考える
- ・西田 容子 キーワードから振り返るミハイル・チェーホフの生涯
—— Легкость (Feeling of ease)

- ・仙葉 豊 英国 18 世紀幽霊実話の構造 —— 「ヴィール嬢の幽霊」を中心に
- ・占部 歩 SFにおける超常的な語り
—— SFにおける回想とアイデンティティの問題について
- ・北村 卓 プロジェクト『表象と文化』の 16 年

『言語文化の比較と交流 6』

- ・中 直一 鷗外訳「悪因縁」と翻訳原本—訳者による削除と付加をめぐって—
- ・中村 綾乃 ゴルフと第一次世界大戦—城内平和と懐疑、植民地の回復—
- ・平山 晃司 カトゥルス第 61 歌訳注
- ・三浦 あゆみ The incipient stages of *far be it* in Middle English

『応用会話分析研究—制度的会話におけるカテゴリー化と連鎖構造—』

- ・古川 敏明 第二言語としてのハワイ語使用に関する会話研究：母語話者カテゴリー Mānaleo をめぐるやりとり
- ・岡田 悠佑 「話し手の語りに対して聞き手が言いうる発話」を話し手が演じること—英語授業での教師による描出發話—
- ・渡邊 綾 過去の医療体験に関するインタビュー：不満の語りにおけるカテゴリー使用
- ・勝部 三奈子 時間外労働の「ホビー」というカテゴリー化—日本語教師へのインタビューにおける成員カテゴリー化実践—
- ・久次 優子 ピア・リーディングにおける成員カテゴリー化の実践—なぜ教師の期待する対話が行われなかったのか—
- ・中野 三紀 英語リメディアル教育学習者の英語学習経験の語りにみられる成員カテゴリー化実践

『ドイツ啓蒙主義研究 16』

- ・福田 覚 道徳週誌『画家談論』における想像と模倣
— スイス派初期の作用詩学について —
- ・長谷川 健一 ユング=シュティリングの敬虔主義批判
—エルバーフェルト体験と『ヘンリヒ・シュティリングの家庭生活』—
- ・廣川 智貴 アルプスを見る詩人—ヘルダリーンとエーベル—
- ・吉田 耕太郎 18 世紀ドイツの旅行記・地理誌とその受容について
—日本の盲人についての情報とその流布を例に—

『時空と認知の言語学Ⅷ』

- ・井元 秀剛 語順と呼応の関係についての一考察
- ・王 周明 《北京官話伊蘇普喻言》成書的多文化因素
- ・瀧田 恵巳 『デュランデ城』における風景描写のダイクシス（その2）
- ・春木 仁孝 *histoire de*+不定詞構文について —*une histoire de* 《*histoirede*》—

『認知・機能言語学研究Ⅳ』

- ・板垣 浩正 *Categorization and Flexibility of a Frozen Idiomatic Phrase*
- ・大神 雄一郎 事物の状態・性質を表す「する」の意味拡張 —英語動詞 “have” の主体化との接点—
- ・小栗 哲哉 *On the Emphatic Reflexive in Japanese: With Special Reference to Zibun-de*
- ・瀬戸 義隆 *What Makes Mizen and Izen Conditionals Distinct? —In the Case of in Late Middle Japanese "*
- ・中尾 朋子 英語の *do-noun* 構文における意味と文脈情報の関連性
- ・三野 貴志 *On the Subject Selection of the There Came Construction*

『レトリックとコミュニケーション』

- ・渡辺 秀樹 英詩感情語のメタファーの系譜 第2回 シェイクスピア『ソネット集』のレトリック再考：感情語の類義・反義を 中心に
- ・大森 文子 *Owen* のメタファーとオクシモロン
- ・後藤 秀貴 精神の座としての〈腹〉—身体部位詞の通時的観察と認知言語学的分析
- ・友繁 有輝 オバマの記者晩餐会 (2014) におけるメタファーとジョーク
- ・寺浦 麻由 『金閣寺』の英語翻訳における金閣寺の擬人化に関する考察 —10章を中心として
- ・岡部 未希 翻訳による解釈の限定—*Emily Dickinson* の詩を用いて
- ・Luke Malik *What We Can Learn about Category Mistakes from Donald Davidson's Theory of Metaphor*
- ・Gerry Yokota *The Representation of Gender in Noh: Canon, Category, Perception*

『「文化」の解読 (19) —文化とメディア』

- ・Oliver AUMANN *Die Freude der Fische*
—*Daoistische Fingerzeige für die Gegenwart*
- ・津田 保夫 人間学的小説理論としてのブランケンブルク 『小説試論』

- ・宮崎 麻子 四人姉妹と五人姉妹を描き分ける近代文学の物語
—『高慢と偏見』『若草物語』『細雪』における姉妹たちの多様性の限界
- ・李 潤澤 戦時映画雑誌『満州映画』の日・満文版比較
—スターの表象を中心に
- ・徐 玉 篠田正浩の映画『美しさと哀しみと』におけるレズビアン表象
—川端康成の原作小説との比較から
- ・山本 佳樹 東ドイツ映画における建築物のイメージ
—『殺人者は我々の中にいる』から『建築家たち』まで
- ・阿部 津々子 EU 市民発案「マイノリティー・セーフパック・イニシアチブ」とは何か？

『音声言語の研究 13』

- ・甲斐 朋子 進行中の話題の終了可能地点に現れる「はい」
—機能と韻律的特徴との関係について—
- ・郡 史郎 アクセントとイントネーションの逸脱に対して感じる違和感について
- ・田中 瑤子 「強勢移動」を起こしやすい単語のピッチアクセント削除について
- ・陳 曦 院政期以前の複合名詞アクセント
—5拍のものについて—
- ・野澤 健・韓 喜善
日本語話者と韓国語話者のアメリカ英語の母音の同定：
L1 の母音音素の数の影響
- ・韓 喜善 撥音の知覚判断に影響を及ぼす音声的特徴
—撥音に母音が後続する場合—
- ・安田 麗 ドイツ語の語末閉鎖子音の発音と知覚
- ・山本 武史 英語の無強勢音節
—子音の重さと形態構造—

『批判的社会言語学の思潮』

- ・呉 素汝 多言語社会台湾における郷土言語教育の可能性
—現場教師の教育経験から見えてくるもの—
- ・小川 敦 ルクセンブルクの小学校における使用言語の多様性
—教室で用いる言語を例に—
- ・山下 仁 Lexikologie im postfaktischen Zeitalter:
am Beispiel der deutschen und japanischen Wortschätze

- ・植田 晃次 朝鮮文字 (=ハングル) による日本語表記規範小攷
 -多言語表示と規範の不備の視点から-

○言語文化共同研究プロジェクト 2019 一覧

<言語文化専攻>

整理番号	共同プロジェクト名	研究代表者	研究分担者(人数内訳)		
		氏名	氏名	教員	院生等
1	自然言語への理論的アプローチ	由本 陽子	(教員)三藤 博、宮本 陽一、越智 正男 (院生)井原 駿、田儀 勇樹、野口 雄矢、張 雨辰、大谷 修樹、山本 恵子(課程博士論文申請資格者)、中西 亮太(課程博士論文申請資格者)	4	7
2	認知・機能言語学研究 V	小栗 哲哉	(教員)早瀬 尚子、大神 雄一郎、Ashlyn Mochle (言社)、中尾 朋子(大阪大非常勤講師) (院生)大井 良友、瀬戸 義隆、板垣 浩正、三野 貴志、坂場 大道	5	5
3	テキストマイニングとデジタル・ヒューマニティーズ 2019	田畑 智司	(教員)岩根 久、三宅 真紀、今尾 康裕、ホドシチュク・ボル、上阪 彩香(データビリティフロンティア機構)、後藤 一章(摂南大)、八野 幸子(帝塚山学院大)、高橋 新(大阪大非常勤講師) (院生)黒田 絢香、浅野 元子、岡部 未希、土村 成美	9	4
4	Cultural Formation Studies II	小杉 世	(教員)伊勢 芳夫、木原 善彦、木村 茂雄、森 祐司、山田 雄三(文学研究科)、マムヌール・ラハマーン(イスラム大(バンガラデシュ)) (院生)小倉 永慈、安保 夏絵、石倉 綾乃、久保 和真、桑原 拓也、舞 さつき	7	6
5	相互行為研究⑥―談話とダイバーシティー―	秦 かおり(2019.4.1-9.20) 榎本 剛士(2019.9.21-20.3.31)	(教員)佐藤 彰、岡本 能里子(東京国際大) (院生)木場 安莉沙、竹村 博恵、オユナー ノミン、児島 麦穂、中川 佳保、張 碩	4	6
6	「文化」の解読(20)―文化と記憶―	山本 佳樹	(教員)我田 広之、津田 保夫、Aumann Oliver (院生)李 潤澤、徐 玉	4	2
7	新しい時代の英語教育	日野 信行	(教員)西田 理恵子、小田 節子(金城学院大) (院生)服部 拓哉	3	1
8	時空と認知の言語学IX	渡邊 伸治	(教員)井元 秀剛、王 周明、田村 幸誠、瀧田 恵巳、春木 仁孝(名誉教授) (院生)―	6	0
9	応用会話分析研究―制度的会話におけるスタンスの構築と役割	岡田 悠佑	(教員)古川 敏明(早稲田大)、シーゲル 亜紀(リンネ大(スウェーデン)) (院生)勝部 三奈子、久次 優子	3	2
10	レトリックとメディア―身体性・感情・色彩	大森 文子	(教員)ジェリー・ヨコタ、渡辺 秀樹、アンドリュウ・村上スミス、ルーク・マリク、アリョーナ・ゴヴォルノワ (院生)後藤 秀貴、友繁 有輝、寺浦 麻由、大野 祐弥	6	4

11	ドイツ啓蒙主義研究 17	福田 覚	(教員)吉田 耕太郎(文学研究科)、廣川智貴(大谷大)、長谷川 健一(大阪 市立大) (院生)ー	4	0
12	言語文化の比較と交流 7	中村 綾乃	(教員)田中 智行、中 直一、平山 晃司、 三浦 あゆみ (院生)ー	5	0
13	音声言語の研究	山本 武史	(教員)郡 史郎(名誉教授)、韓 喜善(ハ ン・ヒソン)(国際教育交流センタ ー)、安田 麗(言社) (院生)田中 瑠子、植田 尚樹(学振特別 研究員)、陳 曦(学振特別研究員)	4	3
14	表象と文化XVII	林 千宏	(教員)仙葉 豊(名誉教授)、北村 卓(名 誉教授)、ディボフスキー アレクサ ンドル(名誉教授)、ガラベ クリスト フ、サラニョン バンジャマン (院生)西田 容子(課程博士論文申請資 格者)、占部 歩、川村 明日香、錢 蕾	6	4
15	批判的社会言語学の探 訪	小川 敦	(教員)山下 仁、植田 晃次、柳田 亮吾、 呉 素汝(大阪大非常勤講師) (院生)ー	5	0

<言語社会専攻/日本語・日本文化専攻>

整理 番号	共同プロジェクト名	研究代表者 氏 名	研究分担者(人数内訳)		
			氏 名	教員	院生等
1	中国上古推定音データベース の構築	鈴木 慎吾	(教員)古川 裕 今泉 秀人 (院生)高田 友紀 宋 新亜 李 日臻 鳥羽加寿也	2	4
2	人工知能が社会に与える影 響：ポストデモクラシーへの道	杉田 米行	(教員)ー (院生)三間 美知太郎 Cesar Rodrigues Anastasija Ozerova	0	3
3	客体指向存在論の潮流への現 代アメリカ文学研究からの応 答	渡邊 克昭	(教員)ー (院生)長尾 麻由季	0	1
4	東南アジア・南アジア地域間交 渉にみるイスラーム拡散と受 容の歴史研究	菅原 由美	(教員)池田 一人 村上 忠良 山根 聡 (院生)菊池 泰平	3	1
5	外国学研究の探索-地域研究に 人文学研究はどう生きるか?	古谷 大輔	(教員)山根 聡 池田 一人 菅原 由美 (院生)近藤 佑樹	3	1

○言語社会専攻/日本語・日本文化専攻研究成果刊行助成

『日本語・日本文化研究 第28号』

- ・小池 康 有対自他動詞の類型性から見た派生過程の考察

- ・李 偉 対訳データに基づく中日受身表現の比較対照研究
- ・金谷 由美子 伝聞マーカーとしてのラシイ ―日本語教育の視点から―
- ・高 姐 作文コーパスにおける中国人学習者の日本語複合動詞の誤用分析
- ・シャミシエワ・ナズグリ 語彙的ヴォイスと文法的ヴォイスの関係について ―慣用受身・使役表現に基づく分析―
- ・劉 玲芳 日本人男性と「支那服」の関わり ―1910-40年代を中心―
- ・千々岩 宏晃 不可能への言及 ―記憶の心的述語の記述的検討―
- ・陳 冬妹 日本語の受身文と中国語の“被”構文の意味機能と談話機能
―テレビドラマの話し言葉を対象に―
- ・プーンウォンプラサート タニット
手伝うことの依頼に対する「断り」の日タイ対照研究
―同等の相手からの重い依頼の場面の分析―
- ・グエン ティ フェン チャン
ベトナム人日本語学習者による日本語の名詞アクセントの産出
- ・ターインタ プーワット 日本語学系学術論文におけるモダリティの使用
―結論におけるモダリティの使用を中心に―
- ・平野 啓太 接尾辞「ぼい」「らしい」「くさい」の変化と構文スキーマ

『スワヒリ&アフリカ研究 第30号 2019』

- ・安部 麻矢 マア語における TA 標識の文法化
- ・牧野 友香 ランバ語のテンス・アスペクト体系の再検討
- ・小森 淳子 バンバラ語の自他交替と自動詞の特徴について
―「受動文」から考察する―
- ・井戸根 綾子 ラムの女性が語るライフヒストリー (3) - 1
- ・TAKEMURA Keiko Utofauti wa Kilahaja wa Kiswahili
- ・MIYAZAKI Kumiko - Kutokana na Data Zilizokusanywa Kisiwani Unguja -

『Estudios Hispánicos 第43号』

- ・Josefa GARCÍA NARANJO Un estudio sobre disponibilidad léxica en Japón
- ・岡本 淳子 (翻訳) フアン・カルロス・ルビオ『アリゾナーアメリカのミュージカル悲劇』
- ・松本 健二 ト라우マ的記憶を詩にする困難

- ラウル・スリータ『その消え失せた愛に寄せる歌』に関する考察—
- ・大内 一 レコンキスタの起源について
論文紹介：A. ベスガ・マロキン著、「8世紀のアストゥリアス王国」
- ・中本 香 近世末期スペインにおける共同体の権利意識 —革命のなかの革命—
- ・川添 誠 ラファエル・アルベルティの『陸の船乗り』における時代への熱視線

『大阪大学 英米研究 第43号 Journal of Anglo-American Studies 2019』

- ・岡田 新 1918年総選挙二人区における自由党と労働党
—労働党が議席を獲得できなかった選挙区—
- ・渡邊 克昭 ポストヒューマン・デザインの地平
—ダン・ブラウンの『オリジン』におけるAIと「かぐわしき科学」のゆくえ—
- ・大津 智彦 初期近代英語における「promise+目的語+to 不定詞」と「promise+目的語+that 節」の交替について
- ・中村 未樹 (研究ノート)『リチャード二世』におけるパッションの政治学と歴史学
- ・永松 里和 現代英語における強意副詞の用法
- ・三宅 一平 「母なるカオス」を求めて
—カート・ヴォネガットの『母なる夜』におけるエデン再訪—
- ・Haruka Murakami Withstanding Reality: Self-conscious Dramatization in Tennessee Williams’
The Two-Character play

『言語社会共同研究プロジェクト2018 ドイツ語をめぐる言語社会研究6』

- ・中川 裕之 C.F.マイヤーの『ユルク・イエナツチュ』における「想像の共同体」—自由・
独立・民主主義・郷土愛
- ・小川 敦 移民国家における多言語言語教育制度—
ルクセンブルクにおける統合のための施策
- ・ホーファー宇治・ファビエン (Hofer-Uji, Fabienne)
ジュネーブ州の高等学校におけるスイスドイツ語の授業をめぐる—議論
の概観と複文化・言語への理解度について
(«Schweizerdeutsch-Unterricht an Genfer Sekundarschulen:
Skizzierung der politischen Debatte und Aufzeigung von
Lösungsmöglichkeiten für die Erhöhung des plurikulturellen
und plurilinguistischen Verständnisses»)

- ・中川 裕之 イゾ・カマルティン「レト・ロマン語大辞典の有用性」
- ・黒谷 茂宏 53. Linguistisches Kolloquium in Odense
- ・黒谷 茂宏 Internationale Konferenz » Modalität und Aspektualität/Temporalität aus Kontrastiver und typologischer Sicht« in Gdańsk

『ブラジル研究 第15号』

- ・東 明彦 ヘンリー・コスター『ブラジル旅行記』（1816年）に見る黒人奴隷制
- ・平田 恵津子 文学に見るブラジルの姿 — 『マルチン・セレレ』の場合（2）
- ・鳥居 玲奈 『ポルトガル語教育と社会言語学』第1章試訳
- ・坂東 照啓 ポルトガル語学校文法における関係詞構文の記述に向けて
- ・河野 彰 『カミーニャの書簡に見る対称詩』
- ・岐部 雅之 『ポリカルポ・クアレズマの哀しき最期』における狂気と懐疑
- ・田中 詩穂 モアシール・スクリアールの作品で表現される *homem cordial*
- ・久保平 亮 ジョアキン・ナブーコの奴隷廃止論
— 黒人に対する恐怖心についての一考察 —
- ・Rogério Akiti Dezem Prefácio
- ・Rogério Akiti Dezem “Uma tarde em Ipanema”(2018)
- ・Joana Roque de Pinho África lusófona e a fotografia participativa como ferramenta pedagógica: uma experiência com alunos universitários japoneses

『IDUN 23号』

《言語篇》

<論文>

- ・清水 育男 スウェーデン語の心態詞 *nog* について
- ・當野 能之 基体動詞の反義語となるスウェーデン語の不変化詞動詞について
- ・鈴木 雅子 外国語学習者の「文化リテラシー」
— 日本人学習者に対するデンマーク語のことわざを一例に —
- ・南澤 佑樹 スウェーデン語の前置詞 *mot* の意味について
- ・Henrik Galberg Jacobsen
For restriktivt? Om bestemmende relativsætninger med substantiv i bestemt form som korrelat
- ・Hartmut Haberland&Rie Obe

Danske dialogiske partikler i japansk oversættelse

En sammenligning af danske dialogiske partikler og japanske interaktive partikler

- Nina Møller Andersen Hvor svært kan det være? Et pædagogisk blik på udlændinges udtale og forståelse af danske vokaler.
- Ulf Larsson NOBELBANKETTENS MENYER
- SVENSKT, SENSORISKT OCH METODISKT
- Shiro Shibata Prepositionsstyrt indirekteobjekt?
En konstruktionsgrammatisk analys av [V-med-NP-NP]-konstruktionen

<研究ノート>

- 間瀬 英夫 末尾第2音節に強勢のある語の stød
- 堀井 祐介 北欧神話文献データベースでの中動態の使われ方
- 梅谷 綾 「デンマーク語専攻の学生のためのスウェーデン語簡略文法」への試み
人称代名詞，名詞と動詞の語形変化の基本

<<文学篇>>

<論文>

- 田辺 欧 ブリクセン文学にみる娯楽性
— 『まぼろしの馬』 (Spøgelseshestene : 1955) 小論—
- 上倉 あゆ子 絵本が描く現代スウェーデンの「こども」
ピヤ・リンデンバウム作品を例に

<翻訳>

- 福井 信子 アンデルセンとノルウェー
手紙から垣間見る出会いと幸せな結末

<<社会篇>>

<論文>

- 高橋 美恵子 スウェーデンにおける非典型時間帯就労とワーク・ライフ・バランス
— 子育て環境と医療従事者の実践に着目して—

<研究ノート>

- ・ 齊藤 弥生 賀川豊彦とスウェーデン・デンマーク
戦間期の北欧をみた日本人
- ・ 石黒 暢 「手を出しすぎないケア」のあり方
— デンマークの高齢者介護における自立支援 —
- ・ 朝田 千恵 ノルウェーにおける「子どもの権利」の法的扱い
子どもの権利条約の国内法化と憲法改正

《歴史篇》

<論文>

- ・ 村井 誠人 「我々は、我々自身に対しされたくない不正義を、他者に対し行ないたくない」という原則で国境線を創った国
—そして、ライオン像はもとあった場所に戻った—
- ・ 佐保 吉一 旧デンマーク領西インド諸島におけるフリーカラード Free Colored に関する一考察
—聖クロイース St. Croix 島を中心に(1733-1848 年)—
- ・ 古谷 大輔 「鉄のカーテン」を越えて
—スコーネの「国替え」を巡るデンマーク・スウェーデンの研究史—

《文化・教育篇》

<研究ノート>

- ・ Anne-Mette Ipsen JOHANNE MÜNTER
- kosmopolit og kvindesagskvinde -
- ・ Martin Paludan-Müller Danmarks ti bud?
- ・ Gunnel Bergström ”Pippi Långstrump finns i mitt DNA”

<エッセイ>

Bente Højlund: En oplevelse i forbindelse med danskundervisning for japanske studerende

『EX ORIENTE Vol.26 2019』

特集：大西洋を挟む演劇の地政学—イギリス、スペイン、アメリカ

- ・ 中村 未樹 捕囚、物語、ホーム —「間違いの喜劇」における外国人—

- ・岡本 淳子 スペイン人劇作家ファン・カルロス・ルビオが描くアメリカの悲劇
-米墨の国境問題をテーマとした「アリゾナ」-
- ・貴志 雅之 覚醒のヴィジョン
-August Wilsonの「20世紀サイクル」における「骨の町」/
「骨の人々」-

論文

- ・植村 真未 不可知の犬
-ポール・オースターの『ティンブクトゥ』におけるレスポンシビリティの解体-

講演記録

- ・西村 成雄 「200年中国」から政治体制変動の周期性を読み解く
大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究会（2018年6月28日）報告要旨
 - ・宋 新亜 反抗としての「沈淪」
-「舞姫」から見た郁達夫における”憂鬱症”の意味-
 - ・黄 勇 現代中国語の感情表現をめぐる構文研究
-”SV0”型を中心に-
 - ・高 曉琳 1950年代の日本における趙樹理文学の受容
 - ・徐 淑丹 認識モダリティを持つ日中原因節の主観性について
-カモシレナイノデ節と”因为可能”節を中心に-
- 大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究会（2018年10月27日）報告要旨
- ・Pankratova, Snezhanna
日本で子育てをしている外国人保護者の家庭内言語教育方針
-母語、母国語、英語、日本語教育への考え方-
 - ・松宮 正義 Don DeLilloのZero Kにおけるゼロの逆説
 - ・高 娟 量的考察の結果をいかに複合動詞の現場指導へ応用するか
-学術論文において使用頻度の高い複合動詞を試みとして-
 - ・西岡 恒男 映画版「美女と野獣」のアダプテーション論的分析
-クリストフ・ガンズ版(2014)を中心に-

外国語教育のフロンティア 3

2020年

— 目 次 —

【論文】

关于汉语中级作文指导的修正反馈研究

—从学习者视点出发—

中国語中級作文指導の訂正フィードバックに関する研究

—学習者の視点から—

.....張 恒悦 1

タイ語における動詞の反復

Reduplication of Verbs in the Thai Language

.....宮本 マラシー 11

တိရစ္ဆာန်အမည်နှင့် မြန်မာမှုဝေါဟာရများ

動物名とミャンマーの文化に関わる語彙

..... HTET HTET 31

اردو نثر کی لسانی زمرہ بندی اور اردو پین کا جائزہ (۱۸۵۰ء تا ۱۷۷۵ء)

Lingual categorization of Urdu prose towards the study of 'Urdueness' (1775 to 1850)

.....AKHTAR, Imran 41
.....YAMANE, So

A Survey of Users and Uses of Dictionaries Among Learners of Japanese Language in Iran

イランにおける日本語学習者の辞書使用とそのニーズ調査

.....HOSSEINI, Ayat 71
.....JAHEDZADEH, Behnam

カザフ語における自動詞を形成する形式

Forms of Intransitive Verbs in Kazakh

.....藤家 洋昭 87

中国におけるCEFRに関する文献から見た研究動向

Research Trend on the CEFR in China Based on the Analysis of Related Literature

.....李 偉 95

【教育実践報告】

Menyoal Pengajaran Tata Bahasa dalam Pengajaran Bahasa Indonesia sebagai Bahasa Asing
On Grammar Lessons in Indonesian Teaching as a Foreign Language
..... Dwi Puspitorini 111

フィリピン語を学ぶ高校生と大学生との交流会
Interactions among Senior High School Students and University Students Studying Filipino Language
.....矢元 貴美 121

Hungarológiai kutatás és oktatás Japánban
日本におけるハンガリー学の研究と教育
.....SUZUKI, Hirokazu 133

“A crisp slice of Japanese apple or a brittle Swedish cookie”
- Some culinary, sensory and semantic-based learning activities in the SFL classroom
サクサクした日本のリンゴ一切れまたはバリバリしたスウェーデンのクッキー一つ
教室における料理、味覚、意味に基づいた語学学習活動
..... LARSSON, Ulf Lennart 139

Sprog er ikke matematik
Language is not mathematics
..... PALUDAN-MÜLLER, Martin Gregers 149

MLEプログラムと専門分化する通訳・翻訳サービスに関するISO国際規格に関する考察
Multilingual Expert Program and ISO International Standards on Interpreting and Translation
.....佐藤 晶子 155

Uso de las redes sociales como dinamizadoras de las destrezas orales y escritas en Español como Lengua Extranjera
Use of social networks as dynamizers of oral and written skills in Spanish as a Foreign Language
..... GARCÍA NARANJO, Josefa 163

韓国語の文字と発音の授業デザイン
A Course Design of Korean Beginners' Literacy Development for Japanese KFL Learners
.....秦 秀美 171

【教材研究】

غیر ملکی طلباء کی تدریس کے لیے اردو متن کے انتخاب کا مسئلہ
外国人のウルドゥー語学習者のための教材選定に関する問題
..... TAHIR, Marghoob Hussain 183

Utamaduni wa Kiswahili Juu ya Mambo yahusyo Dini, Chakula, na Desturi za Mavazi
Swahili Culture on Aspects Related to Religion, Food, and Dressing norms
..... ISACK, Zainabu Kassu 193

Learner Evaluations of English Speaking Class Activities: Striking a Balance Between Enjoyment and Challenge 学生による英語のスピーキング・クラス活動評価 —楽しみと難易度のバランス—	HOFMEYR, Michael Frederick 207
ロシア語語彙の連想関係とロシア語教材 Word Association and Learning Materials of Russian	上原 順一 219
【書評】 書評『ニューエクスプレスプラス ベンガル語』丹羽京子（著）, 2018年, 白水社. A5判, 本文 163頁, CD付き, 定価: 3200円+税. Book Review: New Express Plus Bengali, written by NIWA Kyoko, 2018, Hakusuisha, printed on A5 paper, pp.163 + CD, 3200JPY + Tax.	藤原 敬介 227
【研究ノート】 SO SÁNH ẢN DỤ LIÊN GIÁC Ở CẤP TÍNH TỪ BIỂU THỊ CẢM GIÁC SẮC-CÙN TRONG TIẾNG VIỆT VÀ TIẾNG NHẬT ベトナム語の感覚形容語 SẮC（鋭い）とその反義語 CÙN（鈍い）における共感覚的メタファ ー日本語との比較の観点において—	PHAN, Thi My Loan 247
アラビア語の動詞連続：言語類型論的視点の外国語教育への応用試論 Serial verbs in Arabic, or on how to use language typology	仲尾 周一郎 265
Türkçe Öğrenen Japonların Miktar Belirteçleri İle İlgili Yaptıkları Hatalar Hakkında Düşünceler 日本人トルコ語学習者に見られるトルコ語の数量詞の誤用についての考察	DİRİK, Seval 285
現代スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト作成に向けて Towards Compiling a List of Basic Particle Verbs in Swedish	當野 能之 291 梅谷 綾 南澤 佑樹 芝田 思郎

【その他】

जापान के सम्बन्ध में गांधी जी के कुछ विचार

Some thoughts of Gandhi ji about Japan

..... SINGH, Ved Prakash 301

インド音楽入門～音楽から入る語学の楽しみ

Introduction to Indian music. Learning languages through music.

.....北田 信 311

Studying Arabic in Jordan

ヨルダンでアラビア語を勉強

..... ABDELRAHMAN TAREQ SADEQ ELSHARQAWY 323

【執筆者一覧】 331